



「秘境 乙女溪谷の森」

～ 滝とマイナスイオンのあふれる溪谷沿いの森 ～

恵那農林事務所 森林保全課

乙女溪谷の森は、中津川市北部の加子母川源流域に位置し、夏でも冷涼な標高約900mにあります。

この森は、岐阜県の治山事業である生活環境保全林整備事業により平成12年度～16年度にかけて整備されました。メインとなる施設は、何と言っても加子母川沿いの乙女溪谷キャンプ場から二の谷と呼ばれる支流の上流部にある夫婦滝（男滝）までの約1.2kmの間に整備された木製の遊歩道です。

※) 現在、二の谷遊歩道は7月下旬の豪雨により一部で崩壊が発生したため通行止めとなっております。小秀山登山には三の谷ルートを利用してください。

遊歩道の途中には、シャクナゲの群生地や大小多くの滝があり、マイナスイオンにあふれています。特に夫婦滝（男滝）は約80mの天空から落下しており、滝の下に行けば天然のミストシャワーを存分に浴びることができます。

夫婦滝（男滝）から先は本格的な登山道で、天狗岩や烏帽子岩などの奇岩がそびえ立つ絶景が連なり、標高1,982mの秀峰小秀山へ至ります。

遊歩道の入口にある乙女溪谷キャンプ場は、大小多くのバンガローが整備されており、開設期間は7月中旬から8月末までと短いですが、都市では味わえない清涼感を求めて多くの利用者で賑います。

乙女溪谷の森へは、中津川市中心部から国道257号を北へ向かうと下呂市境にある舞台峠の手前約1kmにある小和知簡易郵便局を過ぎてすぐに右折し、約3kmで到着します。暑さの厳しい季節には絶好の清涼感を求めて訪れてはいかがでしょうか。

注) 乙女溪谷キャンプ場の利用について

利用を希望する方は加子母森林組合（電話 0573-79-3333）にお尋ねください。



マイナスイオンを満喫できる二の谷の遊歩道

天然のミストシャワーが浴びられる夫婦滝（男滝）

